

読賣新聞

2017年(平成29年) 5月13日 土曜日

政治 4 国際 6 7
解説 13 経済 8 9 10 11
家庭 19 教育 17
スポーツ 21 22 23
気流 14 小説 6

壹 糸斤 屋門

(第3種郵便物認可)

武蔵国分寺 お守り誕生



武蔵国分寺の副住職の星野さん(右)とデザインを手がけた西尾さん

副住職とアート作家協力

国分寺市にある武蔵国分寺に初めて、お守りが誕生した。奈良時代に建立された旧武蔵国分寺を起源とする寺だ。由緒ある寺がお守り袋づくりを依頼したのは、地元「非公認」ゆるキャラ「にしこくん」を生んだポップアート作家。歴史の重みと現代性がマッチした、シックでおしゃれなお守りができた。

歴史の重み ■ 優美な装飾



武蔵国分寺に誕生したお守り(上)と散華

武蔵国分寺の起源をたどると、741年の聖武天皇の詔によって古代武蔵国に建てられた旧武蔵国分寺に

を経て今に至っている。

本尊の薬師如来座像が指定重要文化財であることもあり、訪れる人は多い。ただ、お守りなどの授与品はなく、星野亮裕副住職(59)は参拝者から尋ねられる度に「心を苦しめる度」に悩む。

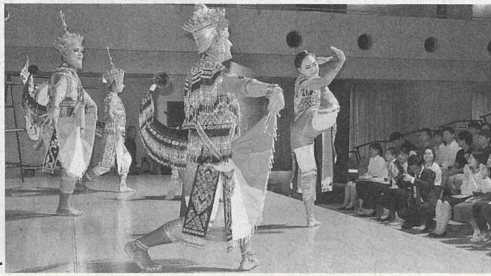
タイ国王しのぶ写真展

日本とタイの国交樹立130周年を記念した写真展「プミポン国王陛下を偲んで」が八王子市の創価大で13日から一般公開される。

皇室とも関係が深く、昨年10月に死去した前国王の生涯と日本との友好関係、死去を悼むタイ国民の表情などを伝える写真35枚が展示される。

12日には開会式が行われ、タイの副首相兼外相や駐日大使らが出席。馬場善久学長、石森孝志市長らとともにテープカットを行った。式典後には、日タイ修好130周年を記念して来日公演中の文化芸能団60人がタイの舞踊、歌、人形劇などを披露、鮮やかな色彩のパフォーマンスに大きな拍手がわいた—写真—。

写真展は同大中央教育棟1階ロビーで午前9時から午後5時。18日まで。無料。



女児にわいせつ容疑の39歳再逮捕

「20件以上やった」

女児の体を触ったとして強制わいせつ容疑で逮捕された元京王バス運転手である職、鎌田祐一容疑者(39)が再逮捕された。鎌田は「20件以上やった」と認めている。

5月生募集
0120
157766

寺では、4月から紫、緑の2種類は700円、金糸刺しゅうのものは1500

紫色の布製のお守り袋に、金糸で武蔵国分寺の文字と薬壺を表現したロゴを刺しゅうしたものを用意した。

思っていたという。そんな時に出会ったのが、ポップアート作家の西尾有未さん(28)。2010年に簡易投稿サイト「ツイッター」で発表する「たちまち人気になったキャラクター「にしこくん」の生みの親だ。

西尾さんは、「どこにもないものを」との要望に応じてデザインや素材にこだわった。包み紙にはイタリ

は、旧武蔵国分寺跡から出土した、ハスの花の装飾が施された円形の「鑑瓦」。モチーフとするにあたって寺にこだわらなかつたキャラが全国区になったことが心に引っかかり、寺にあいさつができずにいた西尾さん。だが昨年、思い切った訪ねると、無類のアート好きの星野さんと意気投合。寺の本堂でアート展まで開

ア製のプラスチックのような手触りの紙を使用。初めて訪れた際に感じたという優美さを表現するため、彩度を落とした紫や緑、赤などの落ち着いた色合いにした。

を授与を始めた。赤は年に1度、本尊を開帳する日だけ授与するという。

星野さんは「本当にどこにもない、いいものができた」と感謝する。

西尾さんは、「どこにもないものを」との要望に応じてデザインや素材にこだわった。包み紙にはイタリ

西尾さんの作品や仕事をを気に入った星野さんは、懸案だったお守りづくりを打診。西尾さんも快諾した。

爆笑!! コロツケ スーパーライブ & デイナリー

ストの会」は12日、都議選

変不安になっている。誰が